

大和インベスター・リレーションズ株式会社
 〒104 - 0031 東京都中央区京橋 1-2-1
 大和八重洲ビル
 Tel 03-5555-4111(代表) Fax 03-5202-2020

「2020年インターネットIR表彰」を発表

大和インベスター・リレーションズ株式会社(東京都中央区 社長:鈴木 潤 以下、「大和IR」)は、上場企業のIRサイトを独自の基準で評価・採点し、特に優秀なIRサイトを構築し、情報開示ならびにコミュニケーション活動で有効に活用している144社を以下の通り、受賞企業として選定いたしました。

2020年評価基準の策定においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、イベントや開示情報などのIR活動に工夫が求められたことから、「コロナ禍に伴うIR活動の見直し」を中心に、引き続き投資家の関心の高い「サステナビリティ関連項目の追加」を行うなど、採点項目の見直しを行いました。

なお、2021年1月14日(木)に表彰式を開催し、受賞企業には記念品を贈呈させていただきます。
内容につきましては、別途ご案内申し上げます。



◆ 2020年インターネットIR 最優秀賞:7社 (※証券コード順)



双日 (2768)
 ミネベアミツミ (6479)
 日本電気 (6701)
 伊藤忠商事 (8001)
 三井物産 (8031)
 KDDI (9433)
 カプコン (9697)



◆ 2020年インターネットIR 優秀賞:21社 (※証券コード順)



カゴメ (2811)
 東急不動産ホールディングス (3289)
 TIS (3626)
 昭和電工 (4004)
 三菱ケミカルホールディングス (4188)
 中外製薬 (4519)
 日本ペイントホールディングス (4612)
 富士フイルムホールディングス (4901)
 コニカミノルタ (4902)
 リクルートホールディングス (6098)
 栗田工業 (6370)

オムロン (6645)
 OKI (6703)
 日産車体 (7222)
 加賀電子 (8154)
 SOMPOホールディングス (8630)
 MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス (8725)
 日本電信電話 (9432)
 ソフトバンク (9434)
 NTTドコモ (9437)^[※]
 ベネッセホールディングス (9783)



◆ 2020年インターネットIR 優良賞:116社 (※証券コード順)



- 国際石油開発帝石 (1605)
大和ハウス工業 (1925)
日揮ホールディングス (1963)
明治ホールディングス (2269)
サッポロホールディングス (2501)
アサヒグループホールディングス (2502)
キリンホールディングス (2503)
ダイドーグループホールディングス (2590)
不二製油グループ本社 (2607)
味の素 (2802)
ニチレイ (2871)
ヒューリック (3003)
J. フロント リテイリング (3086)
三越伊勢丹ホールディングス (3099)
マーケットエンタープライズ (3135)
TOKAIホールディングス (3167)
野村不動産ホールディングス (3231)
帝人 (3401)
東レ (3402)
クラレ (3405)
ブロードリーフ (3673)
住友化学 (4005)
日産化学 (4021)
トクヤマ (4043)
協和キリン (4151)
三菱ガス化学 (4182)
三井化学 (4183)
積水化学工業 (4204)
日本化薬 (4272)
セブテーニ・ホールディングス (4293)
大日本住友製薬 (4506)
塩野義製薬 (4507)
参天製薬 (4536)
DIC (4631)
オリエンタルランド (4661)
クレスコ (4674)
SBテクノロジー (4726)
サイバーエージェント (4751)
資生堂 (4911)
ENEOSホールディングス (5020)
AGC (5201)
日本板硝子 (5202)
日本製鉄 (5401)
住友金属鉱山 (5713)
UACJ (5741)
三和ホールディングス (5929)
テクノプロ・ホールディングス (6028)
ナブテスコ (6268)
小松製作所 (6301)
荏原製作所 (6361)
ダイキン工業 (6367)
グローリー (6457)
セガサミーホールディングス (6460)
日立製作所 (6501)
東芝 (6502)
富士電機 (6504)
安川電機 (6506)
日総工業 (6569)
JVCケンウッド (6632)
ジーエス・ユアサ コーポレーション (6674)
富士通 (6702)
セイコーエプソン (6724)
TDK (6762)
横河電機 (6841)
アズビル (6845)
日本光電 (6849)
アドバンテスト (6857)
シスメックス (6869)
京セラ (6971)
太陽誘電 (6976)
三菱重工業 (7011)
三菱自動車 (7211)
曙ブレーキ工業 (7238)
SUBARU (7270)
ヤマハ発動機 (7272)
島津製作所 (7701)
ニコン (7731)
トプコン (7732)
オリンパス (7733)
タムロン (7740)
HOYA (7741)
リコー (7752)
シチズン時計 (7762)
ヤマハ (7951)
リンテック (7966)
丸紅 (8002)
豊田通商 (8015)
東京エレクトロン (8035)
住友商事 (8053)
日本ユニシス (8056)
丸井グループ (8252)
あおぞら銀行 (8304)
三菱UFJフィナンシャル・グループ (8306)
りそなホールディングス (8308)
三井住友フィナンシャルグループ (8316)
みずほフィナンシャルグループ (8411)
アコム (8572)
オリックス (8591)
野村ホールディングス (8604)
日本取引所グループ (8697)
第一生命ホールディングス (8750)
東京海上ホールディングス (8766)
T&Dホールディングス (8795)
東京建物 (8804)
トーセイ (8923)
日本通運 (9062)
日立物流 (9086)
日本郵船 (9101)
商船三井 (9104)
川崎汽船 (9107)
ANAホールディングス (9202)
スカパーJ S A Tホールディングス (9412)
東京ガス (9531)
エヌ・ティ・ティ・データ (9613)
ファーストリテイリング (9983)
ソフトバンクグループ (9984)

*すべて株式会社表記を省略しております。

*株式会社大和証券グループ本社は選考から除外しております。

[※] NTTドコモは、本年12月25日付で上場廃止となります。

(ご参考) 2020年「インターネットIR表彰」の概要

企業IRはインターネットに包摂されるという『5T&C』*の考え方のもと、上場企業のホームページを調査・評価しています。審査・選定にあたり、青山学院大学名誉教授・東京都立大学特任教授の北川哲雄氏にご監修いただいております。

* Timely(適時性)、Transparent(透明性)、Traceable(追跡可能性)、Trustworthy(信頼性)、Total(包括性) + Communication(双方向性)

◆審査過程 <審査期間:2020年6月1日~10月31日>

■ 一次審査

上場企業 3,883社を対象に、インターネット IR において基本となる下記項目について審査しました。

- | | |
|--------------------|----------------|
| ① 適時開示情報の掲載状況 | ⑥ サステナビリティ方針 |
| ② 決算短信の掲載状況 | ⑦ コーポレート・ガバナンス |
| ③ 有価証券報告書の掲載状況 | ⑧ 外国語サイトの設置 |
| ④ 任意刊行物の掲載状況 | ⑨ お問い合わせ先の表示 |
| ⑤ プレゼンテーション資料の掲載状況 | |

■ 二次審査

一次審査を通過した 1,124社の日本語版 IR サイトについて、定量的評価基準である大和IRスコアボード(日本語版)に基づいて詳細に評価しました。

【大和 IR スコアボード(日本語版)の大項目】

① トップページ	トップページがサイト内の情報へ投資家を適切にナビゲートできているか。
② コーポレートプロフィール	自社のビジネスモデル、強み、業界環境などを説明しているか。
③ 経営方針・計画	IRに対する基本的な考え方、方針、体制等ならびに事業計画や経営戦略が説明されているか。
④ サステナビリティ	法制度やトレンドを意識し、対話に必要な ESG 情報を提供できているか。
⑤ 株式・株価情報	株式情報、株主還元情報など投資に必要な情報を提供できているか。
⑥ 財務データ	主要な財務情報の掲載や財務データなどを投資家の立場に立った内容及び方法で提供しているか。
⑦ IRライブラリー	IRに関連する資料が、十分な種類、量、アーカイブで提供されているか。
⑧ プレゼンテーション	すべての投資家に公平な情報伝達を図るべく、IRイベントに関する情報を十分に掲載しているか。
⑨ サイト使用時の留意事項	投資家が利用するにあたって、IR サイトとしての必要な注意がなされているか。
⑩ コンタクト	投資家とのコミュニケーションを図るため、双方向性を意識したサイト運営がなされているか。
⑪ ユーザビリティ	ユーザビリティの向上が図られているか。
⑫ ICT利活用の促進	IT 技術及び新たなデバイスへの対応ができているか。

■ 最終審査(英文審査)

日本語版の評価点が65点以上の280社の英語版 IR サイトについて、日本語版と同様に開示すべき共通項目に下記の英語版独自評価項目を加え、詳細な評価を実施しました。この英語版の評価点と二次審査における日本語版の評価点を日本語版:英語版=5:5の比率で統合し、総合評価点を算定しました。

【英語版独自評価項目の主なポイント】

- ① 英文のクオリティ
- ② 日本語と英語の開示情報量の公平性
- ③ 日本語と英語の開示タイミングの公平性

なお、英文のクオリティに関する審査においては、ジ・アイアール・コーポレーション株式会社(東京都港区)にご協力いただいております。

◆受賞企業選定基準と選定方法

- ◎ 総合評価点が 90 点以上の企業を「最優秀賞」候補として選定。
- ◎ 総合評価点が 85 点以上の企業を「優秀賞」候補として選定。
- ◎ 総合評価点が 70 点以上の企業を「優良賞」候補として選定。

上記総合評価点をベースにインターネット IR 表彰選定委員会にて表彰企業を選定しております。

○ 北川哲雄氏 略歴

青山学院大学名誉教授・東京都立大学特任教授

- ◆ 早稲田大学商学部卒業、同大学院修士を経て、中央大学大学院博士課程修了（経済学博士）。
- ◆ 1981 年以来、野村総合研究所、モルガン信託銀行（現 JP モルガンアセットマネジメント）等でアナリスト業務に従事した後、2005 年より青山学院大学教授、2019 年より現職。
- ◆ 専門は「コーポレート・コミュニケーション」「コーポレート・ガバナンス」「ファイナンシャル・レポーティング」。
- ◆ 主な著書・監訳として、
 - ① 『バックキャスト思考と SDGs/ESG 投資』（編著、同文館出版）2019 年
 - ② 『コーポレートガバナンス・コードの実践 改訂版』（分担執筆、武井一浩他、日経 BP 社）2018 年
 - ③ 『ガバナンス革命の新たなロードマップ』（単著、東洋経済新報社）2017 年
 - ④ 『統合報告の実際～未来を拓くコーポレートコミュニケーション』（監訳、ロバート・G・エクレス他著、日本経済新聞出版社）2015 年
 - ⑤ 『コーポレートガバナンス・コードの実践』（分担執筆、武井一浩他、日経 BP 社）2015 年
 - ⑥ 『スチュワードシップとコーポレートガバナンス：2 つのコードが変える日本の企業・経済・社会』（編著、東洋経済新報社）2015 年

○ ジェ・アイアール・コーポレーション株式会社概要

- ◆ 1980 年 2 月設立。35 年以上の IR 支援の知見と経験を発揮し、統合報告書に不可欠な、きめ細かなお客さまサポートを社内一貫制作体制で実現。
- ◆ とくにネイティブ スピーカーで構成されるライティング セクション、エディティングセクションによる、質の高い英文作成、校閲、校正に定評。
- ◆ 東証一部上場企業を中心におよそ 450 社、制作したアニュアル レポートの数は 2,000 冊以上にのぼる豊富な実績。
- ◆ 日経アニュアルレポートアワード、WICI ジャパン統合報告優良企業賞で受賞歴多数。
- ◆ 社内一貫制作体制を活かし、お客さまのリモートワークを IRC がハブとなり、完全サポート。

大和IRは、資本市場に幅広い専門分野を持つ大和証券グループのネットワークを活かし、上場企業・上場予定企業のIRを総合的にサポートしています

以上

【お問い合わせ先】大和インベスター・リレーションズ株式会社

インターネット IR 事務局 堂下（電話：03-5555-4111 E-mail: biz_dev@daiwair.co.jp）